

# 令和5年 **10**月の大阪**森林**便り



## **10月の木の話 日本の大工道具の歴史**

- \*のこぎりには、木材の繊維を平行に削る縦びきと、横に切断する横びきの2つの用途があります。
- \*横びきのこぎりは、法隆寺の創建時（7世紀末）には存在。
- \*縦びきのこぎりは室町時代。
- \*のこぎりの形状は、江戸時代のころまでは木の葉形。
- \*江戸時代末期か明治の初めに現在のような直線形に。
- \*横びきと縦びきの両方の刃形が刻んである両刃のこぎりは、明治時代に登場。
- \*逆目を防ぐ裏金の付いた二枚刃かんなが考案されたのは、日露戦争のころ。  
(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100問より抜粋引用)



## **型枠用合板、10か月ぶり上昇 9月2%高**

### **輸入減り過剰感解消**

- \*型枠輸入合板の東京地区で商社が1次問屋に販売する価格（無塗装品）は、9月時点で前月比2%上がりました。
- \*値上がりは2022年11月以来。
- \*合板価格は2021～2022年に急上昇。2022年11月に過去最高値。
- \*マレーシア産合板の7月輸入量は、前年同月比4割減。
- \*在庫を圧縮した結果、過剰感が解消。
- \*7月時点では前年同月比2割程度在庫が少ない水準。
- 国産合板、在庫1%増 8月末、夏場で販売減**
- \*国産針葉樹合板の8月末の在庫量は、前月比1%増。
- \*出荷量は同4%減。
- \*在庫量は2月に比べると約1割少なくなっています。
- \*大手メーカーが生産を抑えていることが背景に。
- \*生産調整は当面継続する予定。  
(2023年9月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



## 国産のミズナラ グイツと上昇

### ウイスキーブーム、丸太 3 割高 香り独特、貯蔵樽向け需要

- \* 国産ミズナラの丸太価格が高騰。
- \* ミズナラは家具やウイスキーの樽に使われる樹木。
- \* 北海道に多くあります。
- \* ミズナラの丸太価格は 2022 年度、過去最高値。前年度比 3 割高。
- \* 物流費高と円安で調達コストが上がっており、国産木材の利用が増える流れ。
- \* ウイスキーの 2022 年の輸出金額は、前年比 22% 増。
- \* 前年を上回る傾向が続きます。
- \* 清酒を初めて上回った 2020 年から首位が続きます。
- \* ミズナラを含む広葉樹は国内の森林の 3 割弱と相対的に少なく需給が逼迫。
- \* 国産ミズナラは自生している樹木がほとんど。
- \* 今年は日本でウイスキー造りが始まって 100 年。  
(2023 年 9 月 28 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

